

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007～2009
 課題番号：19530704
 研究課題名（和文） ペスタロッチ・フレーベル・ハウスの保育・教育思想とアメリカへの導入過程
 研究課題名（英文） Nursery and Education Theory of Pestalozzi-Froebel-Haus and Its introduction to the united State of America
 研究代表者
 橋川 喜美代 (HASHIKAWA KIMIYO)
 鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・教授
 研究者番号：20189468

研究成果の概要（和文）：

フレーベルの姪娘であるシュラーダー・ブライマンがベルリンにおいて開設したペスタロッチ・フレーベル・ハウスは、1880年代にケート・W・ウィギンやサラ・クーパーらカリフォルニアの無償幼稚園運動家が推し進めたフレーベル主義的教育理論と実践によって、アメリカへの受容の道が開かれていく。1893年、シカゴ市で開催された世界コロンブス博覧会に展示されたハウスの関連資料や監督者A・シェーペルの講演は、『幼稚園雑誌』の編集員であったドイツ人移民ホーファーらを通して全国の無償幼稚園運動家に広められ、その影響力を増していく。

研究成果の概要（英文）：

In the eighteen eighties Kate D. Wiggin and Sara Cooper established the foundation for the free kindergarten movement in California. By this movement, the work of the Pestalozzi-Froebel Haus which Froebel's niece, Henriette Schrader-Brymann founded in Berline was received into the United States of America. In 1893, the archives of Haus which exhibited the Colombus Exhibit in Chicago, was under the direction of Annetta Hamminck-Schepel. Amalie Hofer who was a German immigrant and the editor of Kindergarten Magazine, met Schepel. This meeting gave intense impetus to establish of Chicago Kindergarten Institute Hofer had undertaken, and the work of Pestalozzi-Froebel Haus influenced on her and the others more and more.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	900,000	270,000	1,170,000
2009年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
総計	2,200,000	660,000	2,860,000

研究分野：保育思想・実践史

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：思想史、保育実践史、アメリカの幼稚園運動、女性史、幼稚園教員の専門性、精神的母性、共感

1. 研究開始当初の背景

アメリカの幼稚園運動にドイツの女性運動や精神的母性が及ぼした影響については、アレン (Allen, A. T.) らの研究がある。アレンによれば、マーレンフォルツ・ビューロー夫人 (Marenholz-Bülow, B.M.) やペスタロッツ・フレーベル・ハウスの指導者シュラーダー・ブライマン (Schrader-Breyman, H.) が提唱したドイツの精神的母性が、アメリカの幼稚園運動に重大な影響を及ぼしたとされる。フレーベル (Froebel, F.) の姪娘であるシュラーダー・ブライマンの教育・保育思想と実践は、アメリカの幼稚園運動において、3度紹介されている。1度目は、幼稚園運動家ピーボディ (Peabody, E. P.) によるものであった。ピーボディは、ビューロー夫人がシュラーダー・ブライマンの教育・保育実践はフレーベルの教育理論に反するという批判に注目し、アルドリッヒ (Aldrich, A.) ら2人の熟練した幼稚園教師をベルリンに派遣し、その真偽を確認させた。実践の正当性は1年間の経験に基づいて実証され、1880年の『アメリカ教育雑誌』に報告された。

2度目は、シカゴ幼稚園教員養成校の校長ハリソン (Harrison, E.) が1890年に、ペスタロッツ・フレーベル・ハウスを訪問している。訪問の動機はシュラーダー・ブライマンのもとで養成されたドイツ人学生がハリソンの養成校に編入し、驚異的な保育方法を実践したためであった。

そして3度目が1893年、シカゴ市において開催された世界コロンブス博覧会である。ペスタロッツ・フレーベル・ハウス展示室の監督に当たっていたドイツ人幼稚園教師シェーペル (Schepel-Hamminck, A.) は、ドイツ人移民ホーファー (Hofer, A.) や貧児の救済を目指すアメリカ人幼稚園教師たちに強い影響を及ぼし、シカゴ幼稚園協会の結成を実現させた。シカゴ幼稚園協会は1894年、フレーベルのカイルハウ教育者を模し、学生宿舎ゲルトルート・ハウスを開設した。ゲルトルート・ハウスでは、他者と共感し学び合う共同生活を通して、愛と奉仕に裏打ちされた幼稚園教師の養成が模索され始める。

ペスタロッツ・フレーベル・ハウスの受容を難航させた理由として、ホール (Hall, G. S.) はフレーベルの名前にペスタロッツ (Pestalozzi, J.H.) の名が加わっているという理由だけで、ここに寄りつかないように警告するフレーベル主義保守派の強い力が働いていると厳しく批判している。こうしたホールの批判に注目しながら、世界コロンブス博覧会前後のドイツ・フレーベル主義幼稚園運動がア

メリカの運動に及ぼした影響を明らかにしてきた (拙稿「19世紀末期のシカゴにおける幼稚園改革の系譜—ペスタロッツ・フレーベル・ハウスの影響を中心として—」『鳴門教育大学研究紀要 (教育科学編)』第13巻、1998)。

ペスタロッツ・フレーベル・ハウスの保育は、労働者階級の子どもたちを対象に、遊び・家事労働を通した人間性の育成を求める点に特徴が見られ、アメリカにおける移民や都市の貧児を対象にした無償幼稚園の発展に大きな功績を残している。しかし、さらに多くの子どもたちへの開放を求めて進められた公教育体系への幼稚園の編入に伴う効率性重視の動きは、家庭や地域社会との連携を断ち切れ、幼稚園教師の役割を園内の保育に限定していく。

2. 研究の目的

本研究は、アメリカの無償幼稚園と幼稚園運動家に大きな影響を及ぼしたシュラーダー・ブライマンのカイルハウ時代から1878年に、教育施設をペスタロッツ・フレーベル・ハウスと称するまでの保育・幼児教育思想と、アメリカの無償幼稚園運動家ウィギン (Wiggin, K. D.) の師であるドイツ人幼稚園指導家マーウェデル (Marwedel, E.) の保育・幼児教育思想との比較・検討を試みることによって、ウィギンの保育実践に見られるドイツ幼稚園運動ならびに理性的母性の影響を探ることを目的とする。

3. 研究の方法

ペスタロッツ・フレーベル・ハウスの指導者シュラーダー・ブライマンの保育・幼児教育思想ならびに実践がアメリカの幼稚園運動に及ぼした影響を探る本研究において、代表者はアメリカへの導入部分を担当する。一方、分担者はシュラーダー・ブライマンのドイツでの思想背景ならびに実践を担当する。

[研究代表者：アメリカ側の解明]

- ①アルドリッヒのペスタロッツ・フレーベル・ハウスの紹介
- ②マーウェデルを通したウィギンへのドイツ・フレーベル主義の影響
- ③シカゴ博でのペスタロッツ・フレーベル・ハウスの紹介とアメリカ幼稚園への影響

[研究分担者：ドイツ側の解明]

- ①カイルハウ教育舎時代のシュラーダー・ブライマン
- ②ペスタロッツ・フレーベル・ハウスにおける教育の思想と実践

4. 研究成果

(1) ドイツにおける資料調査

カイルハウ教育舎（現在の自由フレーベル学校）では、シュラーダーがここで行った営為を確認する資料は発見できなかった。しかし、ペスタロッチ・フレーベル・ハウスでの資料調査によって、幾つかの新事実が明らかとなった。以下、既成のものとなつた事実を合わせ、シュラーダーの教育・保育ならびに教員養成についてまとめておく。

- ①シュラーダーの教育・保育思想と実践は、貧民の保護と教育、「居間の力」の重視、労働の教育的意義に対するペスタロッチの考えを高く評価し、「ペスタロッチとフレーベルの融合」を図った点に特徴がある。
- ②子どもたちを15～20人程度の小グループに分け、男女を問わず、掃除や洗濯、料理や配膳や後片付けといった家事労働に取り組みせ、幼い頃から全体の一員としての自分を自覚し相互扶助の精神で働くことを求めた。
- ③毎月1つの主題（月主題）を設け、それを中核にして一定期間展開される活動は、幼稚園と初等学校（幼小）を繋ぐ教育的作業であった。
- ④シュラーダーは養成校において、女性に与えられた本能やあるがままの「身体的母性」の次元から、「子どもの本性や願望、必然性への深い洞察」による子ども理解へと高められた「精神的母性」を備えた教育者の育成を目指した。
- ⑤1893年、シュラーダーはシカゴで開催されるコロンブス博覧会にハウスの関係資料を展示するため、シェーペルを渡米させた。シュラーダーが即座に対応したのは、1892年10月15日、国際幼稚園連盟の通信幹事、ヘイブンから手紙を受け取り、博覧会を機に、各国の幼稚園教育の理論・実践を報告・論議し合い、幼稚園教育ならびに教員の資的向上を図ろうとして設立された国際幼稚園連盟（会長：サラ・クーパー）の趣旨に共鳴したからである。
- ⑥シェーペルがシュラーダー宛てに記した手記には、彼女がシカゴにおいて、『幼稚園雑誌』の編集員であるドイツ人移民ホーファーとの交流や講演を通して、ハウスの教育・保育の目的、信条、月主題による実践などを広めていた事実が記されていた。

(2) アメリカでの資料調査

一方、カリフォルニア大学バークレー校のバンクcroft図書館でのシルバー・ストリート幼稚園関連、マーウェデルの文献、ゴールデンゲート幼稚園関連の資料調査によって解明できた点は、以下の通りである。

- ①アメリカの幼稚園運動は、図1に示すように、ブライアンやヒルらが、デューイら進

歩主義者の理論に依拠しつつ、フレーベル主義を打破する過程として描き出されてきた。ここでは、ピーボディやドイツ人教師らが固守したフレーベル主義の精神や態度は凌駕されるべきものと考えられてきた。

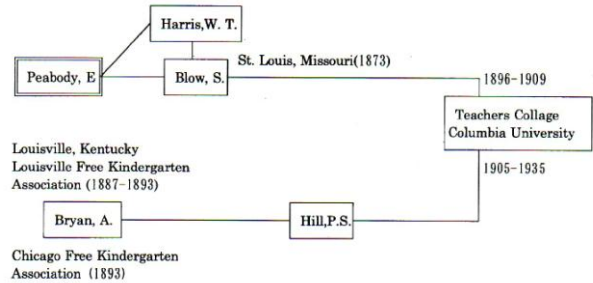


図1 幼稚園運動の系譜

- ②ピーボディがドイツから招聘した幼稚園教師たちは、アメリカにおいて多くの熟練したアメリカ人幼稚園教師を育て上げた。特に、ドイツ人幼稚園運動家エマ・マーウェデルはシルバー・ストリート幼稚園の指導者ケート・D・ウィギンを育て上げ、これがカリフォルニアの無償幼稚園運動を展開させる牽引力となった。

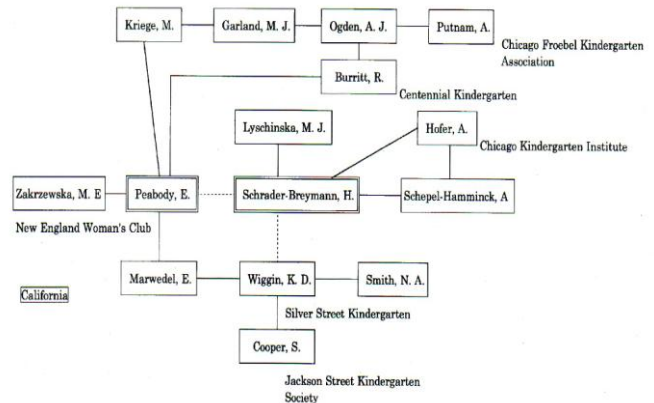


図2 ペスタロッチ・フレーベル・ハウス受容の源流

- ③サンフランシスコの貧民地区に設立された無償幼稚園は、劣悪な環境に育つ子どものみならず、親の教育を目指した。こうした幼稚園では、子どもたちは20人の家族と呼ばれるクラスに分かれ、主題を中核にして一定期間展開される活動や、相互扶助の精神で働くことを愛する国民の育成が求められた。
- ④幼稚園では、卒園した8歳から13歳の女兒のために、家政クラスを週に1度開いていた。また、男児には無料図書館と読書室が毎日、2時から6時まで開かれた。
- ⑤ウィギンが1880年に開設し、妹ノーラによって継承された幼稚園教員養成校の学生たちは、交代で恩物・作業の指導や、ピ

アノ伴奏の助手を務めた。こうした経験は、子ども理解を身に付け、実践できる格好の場となった。

- ⑥ シュラーダーの関心を喚起した国際幼稚園連盟の会長は、サラ・クーパーであった。クーパーはシルバー・ストリート幼稚園を見学し、自ら務めていた長老派教会に属するバイブル・クラスのメンバーと謀ってジャクソン・ストリート幼稚園協会を設立した。

表1 幼稚園関連の組織・団体の設立

1876年	ボストン・フレール協会
1877年	アメリカ・フレール連盟
1878年	サンフランシスコ公立幼稚園協会
1879年	ジャクソン・ストリート幼稚園協会 カリフォルニア幼稚園連合
1880年	シカゴ・フレール幼稚園協会 カリフォルニア・フレール協会
1881年	フィデルフィア・サブリマリー学校協会
1882年	デス・モイネス幼稚園協会
1884年	マサチューセッツ州緊急対策及び衛生協会 全米教育協会幼稚園部門の結成。アメリカ・フレール連盟の発展解消 ジャクソン・ストリート幼稚園協会がゴールデンゲート幼稚園協会となる。 インディアナポリス無償幼稚園児童保護協会 ミルウォーキー福音幼稚園協会 オレゴン州ポートアイランド幼稚園協会
1885年	ロサンゼルス幼稚園協会
1886年	ミネソタ州セントポール幼稚園協会 ロードアイランド州プロビデンス幼稚園協会 オハイオ州クローブリック幼稚園協会 ケンタッキー州ルイスビル無償幼稚園協会
1887年	ニューヨーク州アルバーニー幼稚園協会
1888年	ルイジアナ州ニューオリンズ幼稚園協会
1889年	ニューヨーク幼稚園協会 デトロイト保育学校・幼稚園協会 コロラド州デンバー幼稚園協会 ノースカロライナ州アッシュビル幼稚園協会
1890年	ミシガン州ランドラビッド幼稚園協会 テネシー州チャタヌガ幼稚園協会
1891年	ニューヨーク州バッファロー幼稚園協会
1892年	ミネソタ州ミネアポリス幼稚園協会 国際幼稚園連盟 テキサス州ガルベストン幼稚園協会 サウスカロライナ州チャールストン幼稚園協会とビップバグー・アルゲニー幼稚園協会
1893年	ミズーリ州セントルイスのイザベルクロー幼稚園協会 ワシントン州スポーケン幼稚園協会、ワシントンDCのコロンビア幼稚園協会 シカゴ無償幼稚園協会

Vandewalker, N. C. *The Kindergarten in American Education*, Macmillan Co., 1908, pp.56-58を参照し作成した。

- ⑦ ピーボディやマーウェデル、ウィギン、クーパーらによる幼稚園協会の設立が、全国的に幼稚園関連の協会を叢生させる契機となった。
- ⑧ マーウェデル→ウィギン→クーパーによるカリフォルニアでの無償幼稚園運動が、1893年の世界コロンブス博覧会後のペスタロッチ・フレール・ハウス受容を促進する理論的・実践的基盤を確立した。
- ⑨ フレーベル主義から進歩主義の台頭によって説明されてきたアメリカの幼稚園運動は、フレール幼稚園理論に立脚したカリフォルニアにおける無償幼稚園運動を正当に位置づけることによって、国民性の基礎を聖書に依拠した宗教観から進化論に依拠した倫理観に転換させる動きであったことが理解できる。

(3) 今後に残された課題

ドイツ・アメリカ双方での資料調査から明らかにしたように、カリフォルニアでの無償幼稚園運動はドイツの女性運動や精神的母性の影響を強く受け、ブローらがセントルイスを中心に展開した形式化したフレール主義による機械的な保育を大きく改革するものであった。したがって、アメリカの幼稚園運動に果たした思想的・実践的意義は極め

て大きいものであったと考えられる。ウィギンは時としてブライアンやヒルら同様、進歩主義者の流れに位置づけられる。しかし、ウィギンが悪の蔓延する貧困地域に住み、子どもの教育と社会改良を目指す姿は、親たちに貧児の守護者と呼ばせた。クーパーがシルバー・ストリート幼稚園の見学によって見たものは、幼稚園教師の働きとは献身をもって神につかえる聖なる仕事そのものであった。

こうしたカリフォルニアの無償幼稚園運動がシカゴでの世界コロンブス博覧会に展示されたペスタロッチ・フレール・ハウスの民衆幼稚園の受容に道を開く契機となったと考えられる。今後はシカゴでの資料調査を実施し、直接的な影響を明らかにしたいと考えている。

5. 主な発表論文等（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

- ① 橋川喜美代、アメリカ無償幼稚園運動とペスタロッチ・フレール・ハウス、鳴門教育大学研究紀要、査読無、25巻、2010、38-50
- ② 橋川喜美代、幼稚園教員の専門性としての共感—エマ・マーウェデルの保育と幼稚園教員養成の実際をてがかりに—、鳴門教育大学研究紀要、査読無、24巻、2009、1-12
- ③ 橋川喜美代、ペスタロッチ・フレール・ハウスの教育実践と母性、鳴門教育大学研究紀要、査読無、23巻、2008、110-120

〔学会発表〕（計1件）

- ① 橋川喜美代、19世紀末期のアメリカにおけるペスタロッチ・フレール・ハウスの受容、日本教育方法学会第43回大会、2007.9.30、京都大学

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.naruto-u.ac.jp/~e-child/course/hashikawa/kaken/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

橋川 喜美代 (HASHIKAWA KIMIYO)
鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・教授
研究者番号：20189468

(2) 研究分担者

木内 陽一 (KIUCHI YOICHI)

鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・教授

研究者番号：60204822

(3) 連携研究者 ()

研究者番号：